

局地的な大雨に対する下水道施設内工事等の安全に関する特記仕様書

豊橋市上下水道局

1. 目的

本仕様書は、雨水が流入する恐れのある下水道施設内における工事等で、局地的な大雨による急激な水量の増加により作業員が危険に見舞われることのないよう、また、万が一の場合でも作業員が安全、かつ確実に退避できるよう、下水道施設内工事等の安全を確保することを目的とする。

2. 適用

本仕様書は、本局が発注する工事等のうち、雨水が流入する下水道施設内に作業員が入坑して行う工事等に適用する。

3. 標準的な工事等の中止基準

以下のいずれかの場合には、工事等を中止する。

- (1) 当該作業箇所または上流部に洪水または大雨の注意報・警報が発表された場合
- (2) 当該作業箇所または上流部に降雨や雷が発生し、下水道施設内の水位等に異常な変動が生じた場合、またはその恐れがある場合

4. 安全管理計画の策定

受注者等は、以下の(1)から(4)の内容を「局地的な大雨に対する下水道施設内工事等の安全管理計画」(別紙)として策定し、施工計画書または業務計画書に添付し、発注者の確認を得るとともに、その内容について作業関係者全員に周知徹底を図ること。

安全管理計画の策定にあたっては、局地的な大雨に対する下水道管渠内工事等安全対策検討委員会が作成した「局地的な大雨に対する下水道管渠内工事等安全対策の手引き(案)」を参考にすること。

- (1) 現場特性の事前把握
- (2) 工事等の中止基準・再開基準の設定
- (3) 迅速に退避するための対応
- (4) 日々の安全管理の徹底

5. 工事等の中止・再開の連絡

受注者等は、以下の場合は発注者に速やかに連絡すること。

- (1) 当日の工事等を中止する場合
- (2) 工事等の開始後、工事等を中断する場合
- (3) 工事等の中断後、工事等を再開する場合

局地的な大雨に対する下水道施設内工事等の安全管理計画

確認・実施事項	具体的な実施方法
1. 現場特性の事前把握	
○ 下水道管渠施設情報 ・流域範囲、流入系統、人孔深、管渠勾配、人孔における落差、材質等の把握	
○ 地形情報 ・雨水の集まりやすさの観点から、凹地形、急傾斜地の有無の把握	
○ 既往情報 ・作業現場付近の浸水被害、既往事故、ハザードマップ等を基に作業現場の危険性の把握	
○ 通常時水位等 ・着手前（平常時）の管内状況の把握	
○ その他の情報収集	
2. 工事等の中止基準・再開基準の設定	
○ 現場特性に応じた工事等の中止基準 標準的な中止基準を踏まえ、現場特性に応じた中止基準を設定 退避時間が長い、避難条件が厳しい、急激な増水が予想される、気象情報が入手にくい、夜間の工事等で天候の状態がわかりにくい、水替え等の増水緩和対策や十分な流出防止策を講じることができない等の特性がある場合は中止基準を強化することを検討	
○ 工事等の再開基準	

局地的な大雨に対する下水道施設内工事等の安全管理計画

確認・実施事項	具体的な実施方法
3. 迅速に退避するための対応	
☐ 退避手順の設定 ・退避ルート、退避時の情報伝達方法の設定 ・避難訓練の実施	
☐ 安全器具等の設置 ・急激な増水の緩和対策の検討 ・作業員の流出を防ぐための安全器具の設置	
☐ 情報収集と伝達方法 ・地上監視員の配置 ・気象等の情報収集の方法 ・作業員間の情報伝達方法の検討	
☐ 資機材の取扱い ・退避時における資機材の取扱いの定め ・存置する資機材の流出防止策	
4. 日々の安全管理の徹底	
☐ 退避時の対応方策の周知徹底 ・ツールボックスミーティング（TBM）の実施	
☐ その他	